

地盤調査規格・基準委員会

平成25年度第1回 議事録

日 時	平成25年8月28日（水）14:00～17:00			場 所	地盤工学会 BI会議室			
委員長	利藤 房男	○	幹事（岩）	長田 昌彦	○	幹事（土）	浜田 英治	○
委員	牧角 修	×	WG1委員	窪田 健二	○	WG2委員	辻野 敏文	○
WG2委員	中野 義仁	○	WG3委員	竹内 真司	○	WG3委員	小松 満	○
WG4委員	平林 弘	×	WG5委員	小早川 博亮	×	WG5委員	百瀬 忍	○
WG6委員	藤田 智弘	○	WG7委員	浅井 健一	○	WG7委員	藤崎 勝利	○
WG8委員	伊藤 圭二郎	○	WG9委員	長田 昌彦:兼務	○	WG13委員	横山 幸也	○

○：出席 ◎：代理出席 ×：欠席 △：未定

配布資料

委員会名	資料	資料の有無・番号
地盤調査規格・基準委員会	・ 前回議事録（H25-3-1）	・ 資料25-1-1
同上	・ 平成25年度委員会メンバー表	・ 資料25-1-2 (1)～(2)
同上	・ 委員の交代	・ 資料25-1-3
基準部	・ 基準部規定	・ 資料25-1-4
基準部	・ 基準部会報告	・ 資料25-1-5
地盤調査規格・基準委員会	・ 基準の英文7件	・ 資料25-1-6 (1)～(8)
ワーキング3	・ 趣意書(案) 不飽和地盤の原位置飽和透水試験	・ 資料25-1-10 (1)
ワーキング11	・ 動的コーン貫入試験方法	・ 資料25-1-7
ワーキング12	・ 「基本と手引き」の出版について	・ 資料25-1-8
ワーキング13	・ 水圧破碎法検討委員会 総括等	・ 資料25-1-9 (1)～(2)
ワーキング14	・ 流向流速基準書(案)、付属書(案)	・ 資料25-1-10 (2)～(3)
会員からの質問	・ 今年度4月以降の会員からの質問と回答	・ 資料25-1-11

審議事項

- (1) 前回議事録確認（メール審議で承認済み：資料25-1-1）
 - ・ 特に意見なし
- (2) 委員の交代について（資料25-1-3）
 - ・ 特に意見なし（WG6において、中村幹事が委員に、藤田委員が幹事に交代する）
 - ※幹事（浜田）はメンバー表を修正して委員に配布する（9/2）。
- (3) ワーキング3 不飽和地盤の原位置飽和透水試験の基準化について（資料25-1-10(1)）
 - ・ 試験の名称が一般の会員には分りにくいのではないかと。
 - ・ 次回基準部会（9/17第3回）に上げる。→9/17の基準部会の審議事項

- (4) 基準の英文7件について (資料25-1-6(1)～(8))
- ・ 1, 2, 3, 8の各章のタイトルは、ISOの表記に合わせて以下の通りとしたい (利藤委員長)。
 - 1 Scope of Application → 1 Scope
 - 2 Referenced Standards → 2 Normative references
 - 3 Terminology and Definitions → 3 Terms and definitions
 - 8 Reporting → 8 Report
 - ・ 査読担当のWGは以下の通りとし、幹事 (浜田) は英文ワードファイル (H24年度翻訳: 10基準) を配信する。
 - JGS 1221, 1222, 1223 →WG2
 - JGS 1521, 3511 →WG5
 - JGS 3751 →WG7
 - JGS 1941, 1942, 1943 →WG8
 - JGS 3811 →WG9
 - ・ 入手できていない3基準と英文原稿に図が無いものを、事務局に確認する。また、H25年度翻訳文の進捗に関しても事務局に確認する (WG2: 3基準、WG5: 3基準、WG7: 2基準、WG8: 4基準、WG9: 1基準、合計13基準)。
 - ※事務局 (伊佐治氏) に確認した結果、図は外部委託せずに各WGメンバーにて作成する方針とのこと。
- (5) ワーキング13 水圧破碎法による初期地圧測定方法の基準化について (資料25-1-9(1)～(2))
- ・ 現在基準はBSとASTMしかない。
 - ・ 大深度の測定法としては唯一であり、使用頻度も高い。
 - ・ 以上等の理由により、当測定法の基準化を進めることを承認した。
 - ・ 基準部会での審議資料としてWG3と同様な「設立趣意書」を作成し、幹事 (浜田) に送付する。
- 9/17の基準部会の審議事項
- (6) ワーキング14 審議 (資料25-1-10(2)～(3))
- ・ 3. 2節の文章表現を修正する。
 - ・ 3章の用語・定義と、6章の測定方法の名称が整合する様にする。
 - ・ 付属書Aの測定方法の部分を、6章の該当する測定方法の所に移動する。
 - ・ 付属書Bが図だけなので、説明文が必要。
 - ・ ソフトウェアが特定される図は用いない。
 - ・ A. 2. 2b) U: ダルシー流速 → Vd に修正
 - ・ 以上を修正し、9/9までに幹事 (浜田) に送付する。
 - ・ 幹事 (浜田) が委員に配信し、9/9～9/13をメール審議期間とする。→9/17の基準部会の審議事項
 - ・ 英文化の外注が可能か事務局にて確認する。

報告事項

- (1) H25年度の委員会・WGメンバーについて (資料25-1-2(1)～(2))
- ・ 今年度の規格・基準委員会のメンバーとWG構成について説明した (利藤委員長)
 - ・ ワーキング7の浅井委員と藤崎委員の (土) と (岩) を入れ替える。
 - ※幹事 (浜田) はメンバー表を修正して委員に配布する (9/2)。
 - ・ リーダーと委員が決まっていないワーキング (No. 1、6、7以外) は、以下の日程で決める。
 - ①9/2に幹事 (浜田) はメンバー表の様式を各WG幹事にメール配信する。
 - ②9/9までに各WG幹事はリーダーとメンバーを推薦して幹事 (浜田) にメールする。
 - ③9/13までに各WGの推薦者をメール審議する。
 - ④9/17の第3回基準部会にて各WGのH25年度メンバー構成を報告する。→9/17の基準部会の報告事項
 - ・ 青本出版により、WG9とWG10の役割が終わったので廃止する。→9/17の基準部会の審議事項
 - ※これらのWGに関する会員からの質問事項は、廃止後も当面旧WG幹事に配信する。

- (2) 基準部規程について (資料25-1-4)
 - ・基準部規程に基づき、基準部会の組織構成や各委員会の役割等について説明した (利藤委員長)。
- (3) 基準部会報告 (資料25-1-5)
 - ・第1回と第2回の基準部会の議事録を用いて、今年度の基準部の審議事項を報告した (浜田)。
- (4) ワーキング11 報告 (資料25-1-7)
 - ・メール審議にて承認済み。
- (5) ワーキング12 報告 (資料25-1-8)
 - ・8/5の幹事会議事録に基づき、「地盤調査 基本と手引き 2013年版」の進捗状況と今後の予定について説明した (浜田)。
- (6) H25.4以降の会員からの質問と回答 (資料25-1-11)
 - ・会員からの質問と学会からの回答書を説明した (浜田)。
- (7) その他
 - ①別添資料 「青本とJIS規格票の正誤について」 (H25.8.27 中村委員作成)
 - ・WG4 (平林) 幹事に送付して検討して頂く。
 - ②青本の講習会「サウンディングと載荷試験」 (関東支部千葉県グループ主催) について
 - ・講師は各1名とし、各担当WG (WG4とWG5) にて対応して頂く。
 - ・幹事 (浜田) が担当WGの幹事にメールにて依頼する。
 - ・講師が決まったら幹事 (浜田) が、千葉県グループに連絡する。
- (8) 次回の委員会日程
 - ・11/5 (火) 14:00~17:00 於) JGS 3階中会議室

(以上)